

フィエラ・キャピタル、日本を戦略的重要拠点化の方針 | フィエラ・キャピタル・アジア日本統括 MD に CJ モレルを抜擢

東京／ロンドン、2024年3月xx日 - フィエラ・キャピタルは、フィエラ・キャピタル・アジア日本統括 MD に、CJ・モレル(CJ Morrell)を任命したことを発表しました。フィエラ・キャピタルは、2023年12月31日現在、1,220億米ドルの運用資産を有する独立系の資産運用会社です(以下、「フィエラ」または「当社」と表記します)。日本統括 MD(Managing Director)は、フィエラが、包括的な経済改革が進行する日本市場への戦略的な重点化を行うために新設した役職です。

モレルは以後、フィエラ・キャピタル・アジアの CEO であるロブ・ペティ(Rob Petty)の直属の配下となります。モレルは、シンガポール、香港、韓国における高収益ビジネスと23年の歴史を持つアジアチームをリソースとして、日本のクライアントに、日本市場向けにカスタマイズされた手法でさらに深くコミットしていきます。日本統括 MD は、フィエラの地域密着型モデルの継続的な展開をサポートするポストです。モレルは、フィエラ USA のエリック・ロバーツ(Eric Roberts) CEO、フィエラ・カナダのマキシム・メナード(Maxime Menard) CEO、DACH(ドイツ・オーストリア・スイス)のアラン・マイヤー(Alain Meyer) MD に続く、MD ポジションへの就任となります。

モレルは、フィエラの日本におけるプレゼンスを一段と高め、市場における顧客リレーションを確固たるものにする責任を負います。モレルは、メリルリンチ、JP モルガン、スローン・ロビンソン・アセット・マネジメントなど、資産運用業界で30年以上の経験を積んでまいりました。日本とアジアの株式市場に関する深い知識と経験、定評のあるリーダーシップ能力が評価され、今回の抜擢に至りました。

フィエラ・キャピタル・アジアの CEO であるロブ・ペティは、次のように述べています。「モレルは、アセットマネジメント業務の豊富な経験、投資と流通の双方における経験、そして何よりも日本市場に対する個人的興味に基づく長年の経験と知識を持っています。現在、フィエラ・キャピタル・アジアが提供するサービスは、日本政府が進めてきた金融改革の長期的な影響や、ゼロ金利政策の終焉に直面しています。当社はこれを脅威ではなくむしろ機会ととらえ、当社のアクティブ・アセット・マネジメントや差別化された戦略、さらにはカナダ仕込みの長期投資の考え方を日本の投資家に提供するチャンスと考えております」「これは、機関投資家や富裕層の資金が、フィエラ・キャピタルが最も得意とするインフレヘッジやインカムゲイン的性質を持つ実物資産と株式中心の投資戦略にシフトしている現状を踏まえての見解です」

日本においてフィエラが機関投資家向けに提供する重点アセットクラスは、プライベートオルタナティブです。今後もレバレッジをかけずにインカムを得る、プライベートクレジットに重点を置く予定です。これにはフィエラ・アジアの ANZ 不動産債券のストラテジーや、カナダ、欧州、米国における不動産債券のストラテジーが含まれます。このストラテジーは、2023年に Prequin's Award for the Best Credit Strategies Hedge Fund を受賞し、そのパフォーマンスが高く評価されました。

日本では、個人投資家が 7.2 兆米ドル、つまり資産の 50%を現金で保有している事実があります。これはアクティブ株式ストラテジーにとって、きわめて魅力的な市場といえます。個人投資家の 2023/24 年の投資動向調査では、アクティブ外国株式、グローバル株式、集中型長期株式が優先順位の上位 4 つとして挙げられました。フィエラは、Small-Mid Cap (SMID) Growth、Fiera OAKS EM Select、Canadian Equity、および Fiera Atlas Global Companies の各チームを擁し、トレンドをマネタイズするための体制を整えています。

たとえば、フィエラの OAKS EM Select ストラテジーは、絶対的なリターンを追求する設計となっています。これは中小新興市場証券により広範なポートフォリオを組むもので、2024 年 1 月には 3 年スパンのトラックレコードをマークしました。ブルームバーグのデータによると、開始以来、同業他社の類似商品の 99%をパフォーマンスにおいて上回っています。

フィエラは、2024 年 2 月にスイスのチューリッヒとアラブ首長国連邦のアブダビにリージョナルオフィス(地域オフィス)を開設することを発表しています。モレルの就任は、フィエラのグローバル展開におけるマイルストーンとなるでしょう。新オフィスで実施される業務の一部は、それぞれ FINMA (スイス金融サービス市場監督庁)および FSRA(アラブ首長国連邦金融サービス監督庁)による承認を受けています。

フィエラ・キャピタルについて

フィエラ・キャピタルは、2023 年 12 月 31 日現在で約 1,220 億米ドルの運用資産を有し、世界的なプレゼンスを高めている独立系の資産運用会社です。フィエラ・キャピタルは、北米、欧州、アジアの主要市場において、機関投資家、金融仲介業者、富裕層の個人顧客に対し、公開市場および非公開市場の資産クラスを対象に、顧客ニーズごとにカスタマイズされたマルチアセットソリューションを提供しています。フィエラ・キャピタルの深い専門知識、多様な投資プラットフォーム、卓越したサービス提供への責任感、すべてのステークホルダーに持続可能な繁栄を提供することで投資運用科学の最前線に立つという、当社のミッションの中核をなすものです。フィエラ・キャピタルの株式は、トロント証券取引所で「ティッカーFSZ」にて取引されています。www.fieracapital.com (新しいウィンドウで開きます)

フィエラ・キャピタルはモントリオールに本社を置き、ニューヨーク(米国)、ロンドン(英国)、香港(特別行政区)を含む、世界 10 数都市にオフィスを構えています。

フィエラ・キャピタルの各関連会社(それぞれ「関連会社」と表記します)は、関連会社および関連商品が登録されている、または登録免除によりサービスを提供することが許可されている法域においてのみ、投資顧問または投資運用サービスを提供、または投資ファンドを提供します。

米国では、資産運用サービスは、米国証券取引委員会(SEC)に登録された、または登録免除された投資アドバイザーであるフィエラ・キャピタルの関連会社により提供されます。SEC への登録は、一定のスキルやトレーニングを意味するものではありません。フィエラ・キャピタルの事業体が持つ特定の登録またはその免除の詳細については、[こちらのウェブページ](#) (新しいウィンドウで開きます)をご参照ください。

年次情報を含む、フィエラ・キャピタルに関する最新情報は、SEDAR の www.sedar.com (新しいウィンドウで開きます)で入手できます。

情報開示

本資料に掲載されている情報は、情報提供のみを目的としたものであり、いかなる投資商品の販売または購入の勧誘を意図したものではありません。また、そのように解釈されるべきものでもあり

ません。本資料に掲載されている情報の全部または一部は、投資、税務、法律その他の助言ではなく、投資家の投資目的や財務状況を考慮したものでもありません。本資料には、フィエラ・キャピタルおよびその関連会社の現在の予想を反映した「将来の見通しに関する記述」が含まれている場合があります。これらの記述は、将来の出来事に関する現在の信念、期待、仮定による制約を受け、現在入手可能な情報のみに基づいています。フィエラ・キャピタルおよびその関連会社が合理的と考える仮定に基づいてはいますが、実際の結果、業績、成果がこれらの将来予想に関する記述と一致することを保証するものではありません。フィエラ・キャピタルおよびその関連会社は、新たな情報、将来の出来事、その他の結果にかかわらず、将来予想に関する記述を更新または変更する義務を負わないものとします。